Press Information TDK

EMC 対策製品

車載用小型コモンモードフィルタの開発と量産

- 使用温度上限 125℃
- 導電性樹脂電極構造により高耐久性を実現

2021 年 9 月 7 日

TDK 株式会社（社長：石黒　成直）は、車載用コモンモードフィルタ KCZ1210AH シリーズ開発し 2021 年 9 月より量産することを発表します。本製品は、車載向け差動伝送信号ライン用のノイズ対策製品です。

先進運転支援システム（ADAS）の普及により、フロントセンシングカメラ、アラウンドビューモニタ用等の車載カメラの需要が急速に増加しています。これらの信号ラインにノイズ対策製品としてコモンモードフィルタが使用されます。しかしながら、従来の積層タイプのコモンモードフィルタの使用温度範囲は、-40 ～ +105℃であるため、ADAS 用のカメラには使用できず、主にカーアクセサリーへの対応のみ使用可能でした。本製品は TDK 独自の材料技術と構造設計により、市場ニーズに沿った-55 ～ +125℃の使用温度範囲を実現しました。また、導電性樹脂電極を採用することで熱衝撃による製品クラックの抑制し、基板の歪み等の機械的ストレスに対する耐性を向上させています。本製品は小型サイズ　L:1.25 × W:1.0 × H:0.5(mm)であり、基板実装の省スペース化に貢献します。

TDK では、ADAS 用のインダクティブデバイスの製品強化をはかっており、今後もさらなる高速差動信号に対応した小型コモンモードフィルタのラインアップを拡充し、市場ニーズに対応して参ります。

－－－－－

主な用途

- 高速インターフェイス(USB2.0,LVDS 等)
- 先進運転支援システム（ADAS）

主な特長と利点

- 使用温度上限 125℃で使用可能
- 導電性樹脂電極の採用により機械的、熱的ストレスを軽減

- 主な特性

製品名	コモンモードインピーダンス [Ω] @100MHz	直流抵抗 (1 ライン) [Ω] max.	定格電流 [mA] max.	定格電圧 [V]max.
KCZ1210AH900HR	90±25%	1.75	100	5

生産・販売計画

- サンプル価格 ： 30 円／個（税抜）
- 生産拠点 ： 日本
- 生産予定 ： 1,000 万個／月（当初）
- 生産開始 ： 2021 年 9 月

TDK 株式会社について

TDK 株式会社（本社：東京）は、スマート社会における電子デバイスソリューションのリーディングカンパニーを目指しています。 独自の磁性素材技術をその DNA とし、最先端の技術革新で未来を引き寄せ（Attracting Tomorrow）、社会の変革に貢献してまいります。
当社は各種エレクトロニクス機器において幅広く使われている電子材料の「フェライト」を事業化する目的で 1935 年に設立されました。主力製品は、積層セラミックコンデンサ、アルミ電解コンデンサ、フィルムコンデンサ、インダクタ、フェライトコア、高周波部品、ピエゾおよび保護部品等の各種受動部品をはじめ、温度、圧力、磁気、MEMS センサなどのセンサおよびセンサシステムがあります。さらに、磁気ヘッドや電源、二次電池などです。これらの製品ブランドとしては、TDK、EPCOS、InvenSense、Micronas、Tronics、TDK-Lambda があります。
アジア、ヨーロッパ、北米、南米に設計、製造、販売のネットワークを有し、自動車、産業電子機器、コンシューマー製品、そして情報通信機器など幅広い分野においてビジネスを展開しています。2021 年 3 月期の売上は約 1 兆 4790 億円で、従業員総数は全世界で約 129,000 人です。

本文および関連する画像は www.tdk.com/ja/news_center/press/20210907_01.html からダウンロードできます。

製品の詳細情報は

https://product.tdk.com/system/files/dam/doc/product/emc/emc/cmf_cmc/catalog/cmf_automotive_signal_kcz1210ah_ja.pdf

で参照できます。

報道関係者の問い合わせ先

担当者	所属	電話番号	Email Address
大須賀	TDK 株式会社 広報グループ	+81 3 6778-1055	pr@jp.tdk.com